



「IT政策パッケージ-2005

-世界最先端のIT国家の実現に向けて-」概要

平成17年2月24日

IT戦略本部

我が国のIT戦略について

e-Japan戦略
(2001年1月)

e-Japan戦略
(2003年7月)

戦略 加速化
パッケージ
(2004年2月)

世界最先端
のIT国家

IT基本法
IT戦略本部設置
(本部長: 内閣総理大臣)

IT政策パッケージ-2005

2005年末に向けて
・世界最先端の評価・検証
・今後のIT戦略

インフラ等、基盤整備

IT利活用重視
(先導的7分野)

(医療、食、生活、中小企業金融、
知、就労・労働、行政サービス)

重点的取組課題
・電子政府・電子自治体
・医療の情報化
・教育の情報化
・情報セキュリティ 等

「e-Japan重点計画-2004」
(2004/6)

「e-Japan重点計画-2003」
(2003/8)

「e-Japan重点計画-2002」
(2002/6)

「e-Japan重点計画」
(2001/3)

2001

2002

2003

2004

2005

~

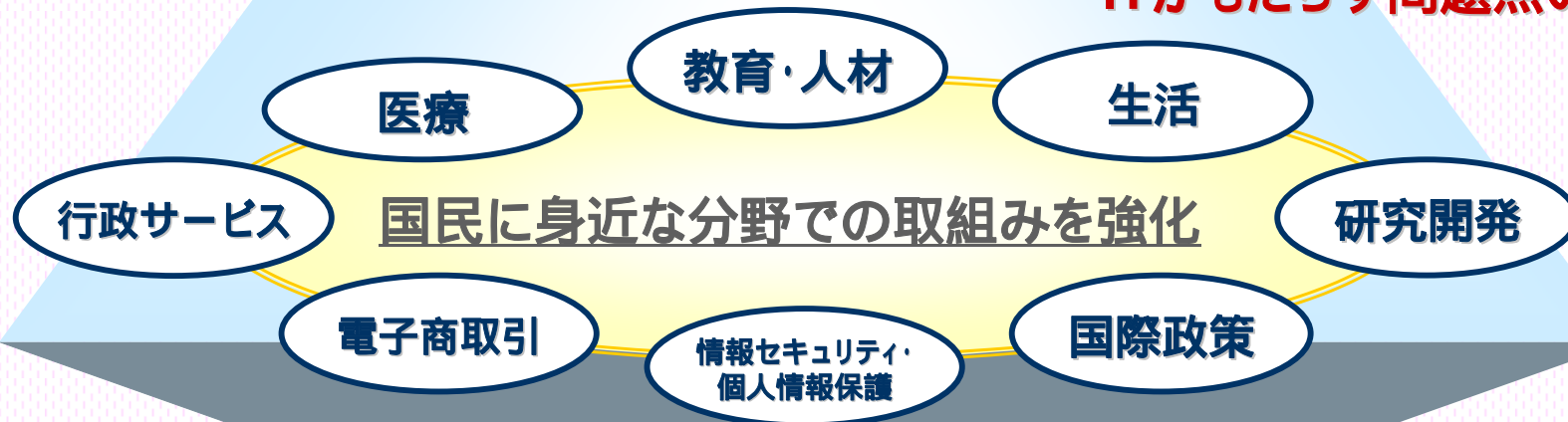
IT政策パッケージ-2005作成の考え方

2005年 世界最先端のIT国家

IT政策パッケージ -2005

・利用者の視点でのラストスパート
(2006年以降の布石)

ITの利用・活用を一層促進
ITがもたらす問題点の克服



e-Japan重点計画-2004

「IT政策パッケージ-2005」のポイント

行政サービス

利用者本位の行政サービス

登記、国税など年間申請件数の多い手続（10万件以上）について、添付書類のオンライン化の徹底（登記2005年8月末までに、国税2005年度末までに）、オンライン手数料の見直し（2005年度中）等、利便性の向上。
府省共通システム整備等を効率的に実行するために必要な予算上の措置の検討。（2006年度予算要求時を目途）
輸出入・港湾に関する業務・手続の簡素化のため、統一オンライン申請様式を導入。（2005年11月までに）
オンライン官報の機能拡充。（2005年4月）
住民生活に密着した自治体行政サービスのワンストップアクセスの推進。（2005年中）
先進的な電子自治体を公表し、成功事例を広く提供。公的個人認証サービスの利用の推進。

医療

安全・安心で高度な医療

医療のIT化を促進する診療報酬の在り方の検討。（2005年度中に決定）
電子レセプトに関するインセンティブの検討。（2005年中に結論）
レセプトを審査支払機関から保険者へ電子データで提出することを開始。（2005年中）
電子カルテの標準化を推進し、医療機関間での電子カルテの相互運用性を確保するための措置を実施。
（2005年中）

「IT政策パッケージ-2005」のポイント

教育・人材

高度な教育と多様な学習スタイル

地域の力を結集した「教室のネットワーク化運動」に対する支援等を行い、公立学校の校内LAN整備等を推進。(2005年度中)

インターネットの利用マナーなど、情報モラル教育をモデル校で実施、全国に展開。(2005年度中)

高度なIT人材の育成に関する産学官による連携体制を整備。(2005年度中)

生活

安全で便利な生活

偽造カード等、ITの進展に伴う社会問題に対応するための各省連携体制を整備。(2005年2月)

フィッシングの効果的対策の検討(2005年中)、迷惑メール対策強化のための法改正。(2005年早期国会提出)

災害情報の迅速な収集・伝達のため、デジタル防災無線やヘリコプター受信機を緊急配備。(2005年3月)

ITを活用した先進的な食の安全・安心システムを開発・普及。

交通事故防止システムの社会実験を実施等、ITSの高度化を推進。(2005年度中)

電子商取引

高付加価値化による市場の創出・活性化

事業活動のIT化を阻害する残された課題に取り組み。(2005年中)(NPO法人等の総会運営IT化等)

中小企業の経営革新を進めるため、IT経営応援隊による普及啓発等を実施。

「IT政策パッケージ-2005」のポイント

情報セキュリティ・個人情報保護

安全・安心なIT利用環境

「情報セキュリティ政策会議(仮称)」、「国家情報セキュリティセンター(仮称)」等の設立による政府の体制強化。個人情報保護の推進。情報漏洩行為等の処罰のあり方の論点整理・検討。

国際政策

アジアを世界の情報ハブへ

2005年度のIT国際政策の重点化すべき対象分野、対象国を決定。アジア地域の災害情報ネットワーク、警戒システムの構築を推進。愛知万博を活用し、我が国の最先端技術を世界に発信。

研究開発

次世代の知が生まれる社会

モバイル、光、デバイス等の研究開発を進め、グローバルなIT社会構築に積極的に貢献。